

成果発表

小動物から摘出した臓器を用い、組織標本を作製する。
HE、マッソン-トリクローム染色、免疫染色を施行する。

班ごとにあらかじめ割り当てられた臓器について、作製標本を利用して説明をする。
発表各班8分、質疑応答5分とする。

作製した標本を顕微鏡写真として提示するだけでなく
臓器の位置、血管支配、神経支配生理的機能など総合的に
まとめること

免疫染色に使用した抗体の種類A, B-1,-2,-3について染色結果からその種類を推察する。

発表順番

- [8班]—心臓、大血管
- [7班]—肝臓、膵臓
- [6班]—肺、気道
- [4班]—腎臓(副腎or膀胱)
- [2班]—消化管(胃、大腸)
- [3班]—女性生殖器(卵巣、子宮)
- [5班]—脾臓、胸腺
- [1班]—脳

免疫染色に用いた抗体の概要

Desmin、 Von Willebrand Factor(FactorVIII-related antigen)、 Keratin、 S-100

A : 全班 : Keratin

上皮細胞 : 扁平上皮、円柱上皮、移行上皮

B-1 : 1. (心臓、脳) 2. (胃、大腸) 3. (子宮、精巢) 班 : S-100

グリア細胞、シュワン細胞、脂肪細胞、メラノサイト

B-2 : 4. (腎臓、膀胱) 5. (脾臓、胸腺) 6. (肺、気管) 班 : FactorVIII-related antigen

血管内皮細胞、血小板、巨核球

B3 : 7. (肝臓、肺) 8. (心臓、大動脈) 班 : Desmin

筋細胞フィラメント : 骨格筋、平滑筋、心筋

Rabbit polyclonal 抗体を1スライドに2-3滴滴下

Negative control : 抗体に含まれる、正常Rabbit Igとの交差性の否定